

ドラマティック日本史 第4弾

【怨霊】崇徳天皇

「保元の乱」に敗れて悲劇の死

講師：若村 亮 先生

日時：7月7日（月）10：00～11：40

■崇徳天皇

鳥羽天皇の第一皇子であったが、鳥羽天皇からは疎んじられた。崇徳天皇が鳥羽天皇の実子でなく、祖父・白河天皇と待賢門院との間にできた子であったためとされる。鳥羽天皇がそれを知り、崇徳天皇を我が子にして祖父の子「叔父子」という意味で「叔父子」と呼んで疎んじた。

後白河天皇と皇位継承問題で対立を深めて保元の乱を起こし、敗れた崇徳天皇は讃岐国に配流されて悲運の内に没し、怨霊化したとされている。



天皇所縁の神社：白峰神宮（上京区今出川通堀川東） 安井金比羅宮（東山区東大路通松原）

平安末期＜武士の争乱による激動の皇位継承＞

■歴史1：上皇による院政の到来

■歴史2：白河上皇の血を継ぐ＜崇徳天皇＞の即位

■歴史3：鳥羽上皇の血を継ぐ＜近衛天皇＞の即位

■歴史4：鳥羽上皇の血を継ぐ近衛天皇＞の崩御

■歴史5：鳥羽崩御で対立激化＜崇徳派 VS 後白河派＞

■歴史6：＜保元・平治の乱＞武士による皇位継承の時代へ

■歴史7：＜平清盛＞と＜後白河上皇＞の対立へ

■歴史8：＜平清盛の死＞ 平氏一門が凋落への道を歩み始める

■院政時代の歴代天皇

・第72代 白河天皇

天皇を譲位した後、上皇として院政を創始した。以後43年間に渡って朝政を掌握した。

・第74代 鳥羽天皇

崇徳天皇、近衛天皇、後白河天皇の三大に渡って27年間院政を行った。崇徳天皇と対立して後白河天皇を擁立し、これが保元の乱の原因となった。

・第77代 後白河天皇

即位の際に崇徳上皇と対立して保元の乱が生じた。二条天皇に譲位した後、5代に渡って院政を行い、源平争乱から鎌倉幕府確立に至る大変革期にあって朝廷権威の存続を巧みにはかった。出家して法皇となった。

